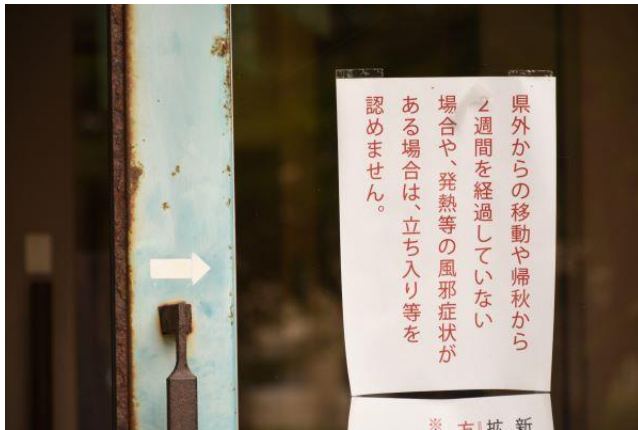




前橋のみなさまへ

こんにちは。平成30年度のプログラムでお世話になりました尾花です。皆様、いかがお過ごしでしょうか？

現在僕は秋田県に住んでいます。感染者数は全国的には少ない方ですが、所々でヒタヒタと新型コロナの影を感じています。僕が暮らす町には、広い空とゆったりとした風景は以前と変わらず漂っているのに、何かいつもとは違う。オンライン会議ばかりで家族以外と対面で話さない日が多かったり、事実かどうか判別できないコロナの噂に触れたり、県外ナンバーに敏感になったり……。知らず知らずのうちに、薄暗い気持ちが込み上がっていることに驚きます。今までは活発な移動や、沢山の人と出会うことが推奨されてきたのに、躊躇してしまう。こちらも当たり前前のことが当たり前ではない毎日です。



作家活動についてはこの秋、ふたつの芸術祭に参加する予定でした。しかしひとつは延期。もうひとつは大幅に開催方針が変更となりました。張り詰めていた緊張感も、ふんわりと気が抜けてしまった状況です。(まあ、それでも締め切りはあるのですが...)ただし、この予想外に与えられた時間をどう最大限に活かしていくか。これについては僕自身の作家としての生き方を試されているようで、ワクワクとドキドキが入り混じっています。この出来事も良い方向に転換せねば...

最後に身近に起きたこと。僕自身の変化もお知らせします。

まず始めに『発声』に敏感になったことです。元々滑舌も悪く、家族からははっきり喋りなよ、とよく言われていました。しかし自粛期間に入ると、メールやSNSのやり取りばかり。そんな間にふと対面で話すこととなった時、声が出ない……。空気が詰まったようになり、口や舌をうまく動かせないことが多くなりました。声を出す度に「うまく喋れるかな」と不安になる事が増えています。



そしてもうひとつは音楽を聴くようになったこと。ニュースやワイドショーの情報を繰り返し聴いていると、ズシンと重たいものが引っかかる。朝は鬱々とした心を取り払うことから始まる毎日でした。これはいけないと、テンションが上がる音楽に変更。すると気持ち良い！！音楽の力を再認識する日々です。



それとオンラインイベントが増え、遠くの人と繋がりやすくなったこと！！これも良いことです。何が良くて何が悪いのか。価値観もくるくる反転する毎日ですが、早く前橋に戻れる日を楽しみにしています。それでは、また！

尾花賢一

2020年 6月